

個人質問

納税場所や納税機会の拡大などの
積極的な徴収策を！

やちまた21……………加藤 弘



税関係について

問 徴収率向上に向けた施策の強化について伺う。

市長 今年度は既に4月14日から3カ月間の予定で千葉県滞納整理推進機構との共同による滞納整理を開始しており、県税務職員2名が本市に配属となつています。また、インターネット公売についても、昨年度に引き続き実施する予定であり、現在、換価価値のある動産・不動産の抽出作業を行っているほか、自動車の差し押さえに必要となるタイヤロックを2基、既に購入しています。一方、収納窓口の拡充を図る目的から、平成21年度からのコンビニ収納の導入を決定し、現在準備作業を進めているほか、本年4月からは、毎週火曜日の夜8時まで、夜間納付窓口及び相談窓口を開設しており、利用者も徐々に増加傾向にあることから、徴収率の向上につながるものと期待しています。

タイヤロック



問 コンビニ収納の導入を決定したということだが、どのような税を対象としているのか伺う。

総務部長 対象となる税については、個人住民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の4税を対象としています。また、税以外の公金では、市営住宅の使用料、住宅の駐車場使用料、介護保険料、後期高齢者医療保険料を対象として考えています。

問 徴収率の向上に向けた施策強化による結果をどの程度見込んでいるのか伺う。

総務部長 毎年度作成している徴収対策基本方針における平成20年度の市税収納率目標は現年度分が95・0

パーセント、滞納繰越分が13・0パーセントを設定しています。この数値目標を超える、あるいは近づけるよう、今年度の滞納整理実施計画に基づいて推進していきます。

職員定数適正化について
問 現状における適正人員を伺う。

市長 平成17年度を初年度とする定員適正化計画により、職員数を漸次削減しています。この計画では、平成20年度当初の職員数を586人としていましたが、今年度開始時の職員の実数は570人です。今年度の職員数は、この計画を下回っています。行政サービスを十分提供できる人員配置ができたものと考えており、現状においては、適正人員を確保しているものと認識しています。

その他の質問

市有バスについて
教育問題について

個人質問

市債残高、特別会計合わせて約300億円の借金を解消し、市長給与引き下げ、市職員削減で市民に還元を！

……………古場 正春



行財政改革について

問 八街市の起債残高、一般会計227億円、学校給食会計2億円、下水道会計44億円、水道会計26億円合わせて約300億円の借金を解消をいつ迄にするのか見通し計画を伺う。

財政課長 市債残高、特別会計合わせて約300億円、これはやはり縮小方向に持って行かなければなりません。財政課としても、財政推計の中で、平成27年度までには、一般会計ベースで100億円の起債残高の縮小を図るという目標を達成すべく財政運営に努めています。

市職員削減について

問 市の財政が厳しい中、歳出額に占める人件費のウエイトは約24%と高い状態である。財政再建はいかに人件費を抑えるかであり、本市は佐倉市に比べ、職員数が26%多いため佐倉市並みの人員削減計画を伺う。

市長 中、長期的に持続可能な財政運営を図っていくには、義務的な経費についても見直しが必要であると考えています。この中でも、いかに人件費を抑制・削減していくかが、重要な要素になるものと認識しており、総人件費の抑制・削減をするためには、総職員数

の削減をどの様に実現させるかにかかっているものと考えています。

税の収納率向上計画について
問 本市の現状は平成18年度の市税収納率94・4%、県ワースト1、滞納繰越額18億円。国保税収納率76・6%、全国2年連続ワースト1、滞納繰越額28億円である。5年計画でベストな状態にしなければならぬと思うが市の見解を伺う。

市長 これまで目標収納率の設定や基本方針の策定については、担当課において単年度ごとに行っていました。今後は市税の徴収強化を全庁的な取り組みと位置付け、長期的な視野にたった施策の展開を図るためにも、副市長を本部長とした徴収対策本部の設置などについても検討していきたいと考えています。

その他の質問

地球温暖化対策について